

イデックスオイルレポート ~For a week~

2022/3/11作成 (株)新出光

【概況】＜ロシア産原油輸入禁止表明による原油高騰＞

●4日、バイデン大統領が原油輸入の禁止も選択肢であると表明したことから、WTI原油は、2008年9月以来の高値1バレル＝116.57ドルを付けました。戦争が長引けば、状況次第で2008年の過去最高値に近い140ドル程度までは買われる可能性があります。

●7日、WTI原油は、一時130.5ドルの高値を付けました。プリンケン米 국무長官は、ロシアからの石油輸入禁止を欧州の同盟・友好国と積極的に議論していると明らかにし米国や欧州の強硬な世論が後押ししているとみられています。

●8日、原油供給不足への警戒感が一段と強まり、原油買いが加速しWTI原油は、128.06ドルへ続伸しています。またロシアのノバク副首相は7日、欧米諸国がロシア産原油の輸入を禁止すれば原油相場は300ドルを突破すると警告しました。

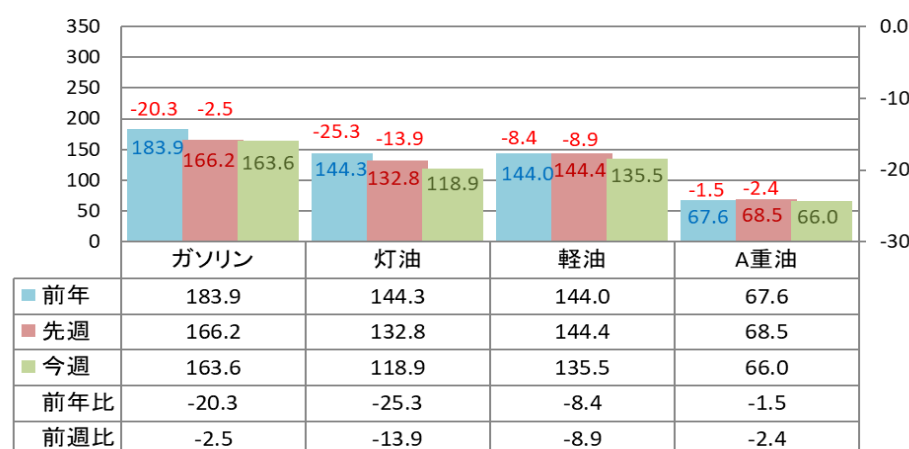
●9日、バイデン米大統領は、ウクライナに侵攻を続けるロシアへの追加経済制裁として、ロシア産の原油や液化天然ガス(LNG)、石炭などの輸入を禁止する大統領令に署名し、プーチン政権の弱体化を図ると表明しました。

●10日、WTI原油は、117.87ドルに大幅反落しました。米国が昨年輸入したエネルギーのうちロシア産は約7%、英国の原油消費量に占めるロシア産の割合も約8%に留まるとの事で、実質的な需給への影響は限定的との見方が台頭し、朝方にかけて利食い売りが優勢となり相場の下押し材料となっています。

3月11日 17:00現在 WTI原油 108.41ドル 為替 1ドル 117.32円

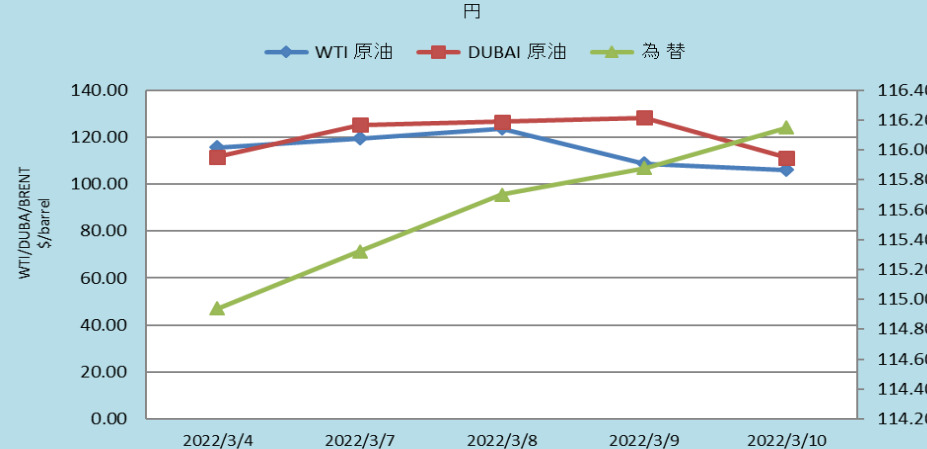
国内石油製品在庫 3月5日時点

単位万KL



WTI・DUBAI / 為替 相関グラフ

単位



次回元売変動予測

3/17～ 元売変動予測

ガソリン	➡	-2.8～-3.8
灯油	➡	-2.8～-3.8
軽油	➡	-2.8～-3.8
A重油	➡	-2.8～-3.8
LSA	➡	-2.8～-3.8

【製品卸価格】＜月間玉販売開始＞

＜今週＞今週の元売り仕切り改定は3社ともに原油コスト「+12.0円」、補助金「-17.7円」となり、実質「-0.7円」の値下げ改定となりました。政府の激変緩和の補助額が5円から25円へ増額された事と日経ドバイ原油の期間変更により値下げとなっております。このため月間平均仕入れ玉を所有しているところは売り時と見て枠消化を進めています。

＜3月12日以降＞次回の元売り改定は、現状で原油コスト「+3.0円～+4.0円」の値上げ改定で、激変緩和補助金は「-24.5円」の見込みで、都合「-2.8円～-3.8円」の値下げ改定の予測となっています。補助金の算出方法の変更等もあり、次回改定が下がる予測が強い為、更に月間玉を扱うディーラーはここがコストの頂点と考え販売を強化しています。また、気温上昇に伴い灯油の需要が停滞する為、枠消化が進んでいない業者間同士の販売競争がさらに激化してくるものと思われます。

※原油コスト「+3.0～+4.0円」

激変緩和補助金「-24.5円」

※現時点での予測です。

【次世代エネルギー】＜JR北海道、水素を活用した燃料電池車両を導入へ＞

JR北海道は北海道が「ゼロカーボン北海道」を宣言したことを踏まえ、新たに長期環境目標「JR北海道グループカーボンニュートラル2050」を策定したと発表しました。目標達成の為、水素を活用した燃料電池車両の導入などさまざまな取り組みをするとの事です。取り組みのひとつに挙げられた鉄道・バスの車両更新では、気動車から水素を活用した燃料電池車両へ置き換え、路線バスの車両も燃料電池バスへ切り替え、軽油燃料をCO2フリーのバイオマス燃料へ転換することも計画されるとの事です。2030年度までの取り組みとして、老朽化した721系から高効率機器を採用した電車へ更新し、他に太陽光・風力・水力等の再生可能エネルギー由来のCO2フリー電気の利用を進めています。

[出典]

① <https://news.mynavi.jp/article/20220209-2269176/>